

武蔵野市のまちづくりとPPP

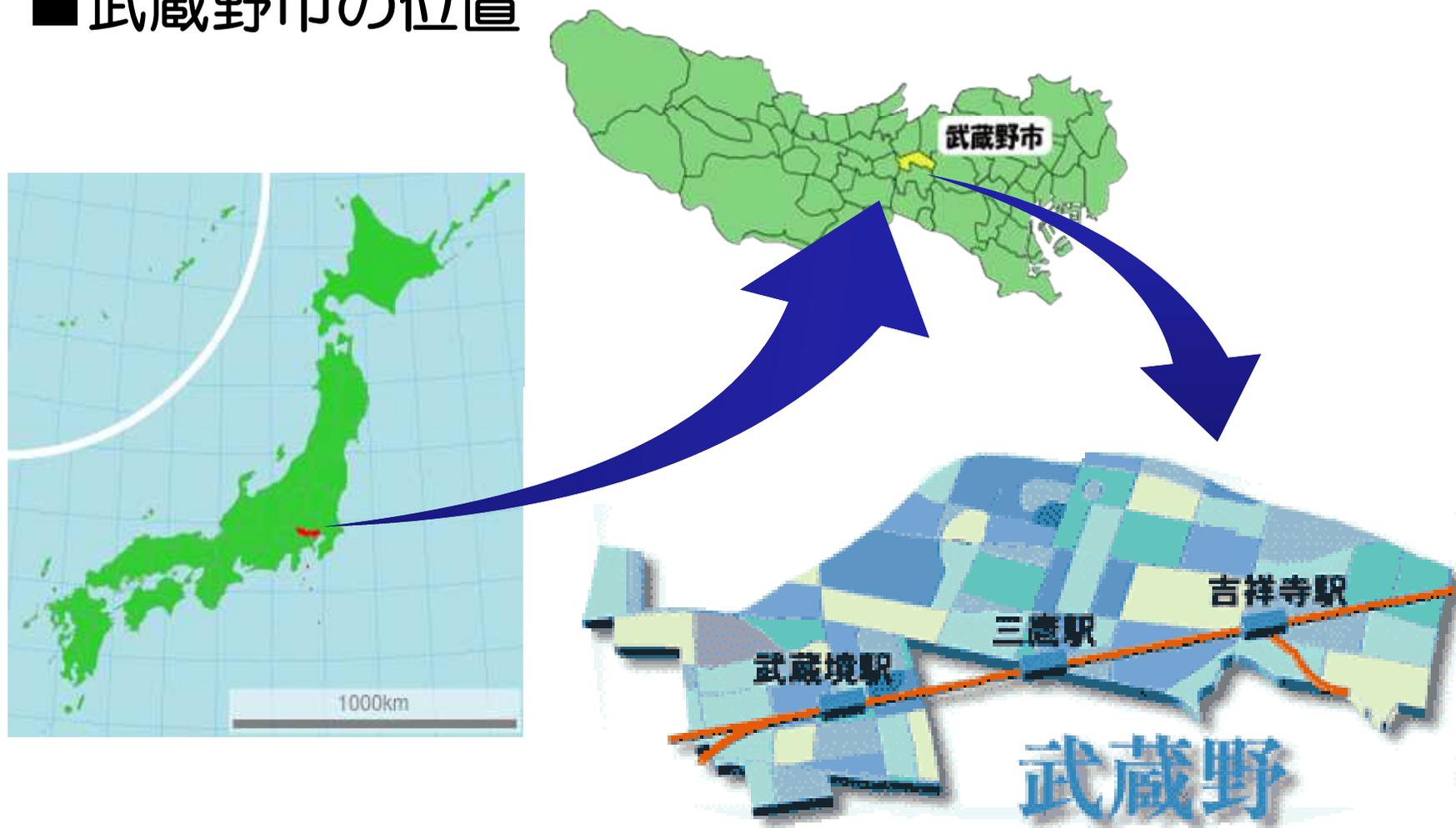


武蔵野市長 邑上 守正



はじめに

■ 武蔵野市の位置



■ 武蔵野市の概要

項 目	武 蔵 野 市
市 制	昭和22年11月3日
面 積	10.98km ²
人 口	143,262人 (H28.10.1)
人口密度	13,048人/km ²
職員数	853人
財政規模（一般会計）	668億円（H28予算）
実質公債比率	-1.3（H26年度）
財政力指数	1.41（H26年度）
経常収支比率	84.7%（H26年度）
公共施設面積	約307,700m ² （H28.10）
市民一人あたりの面積	2.15m ² /人



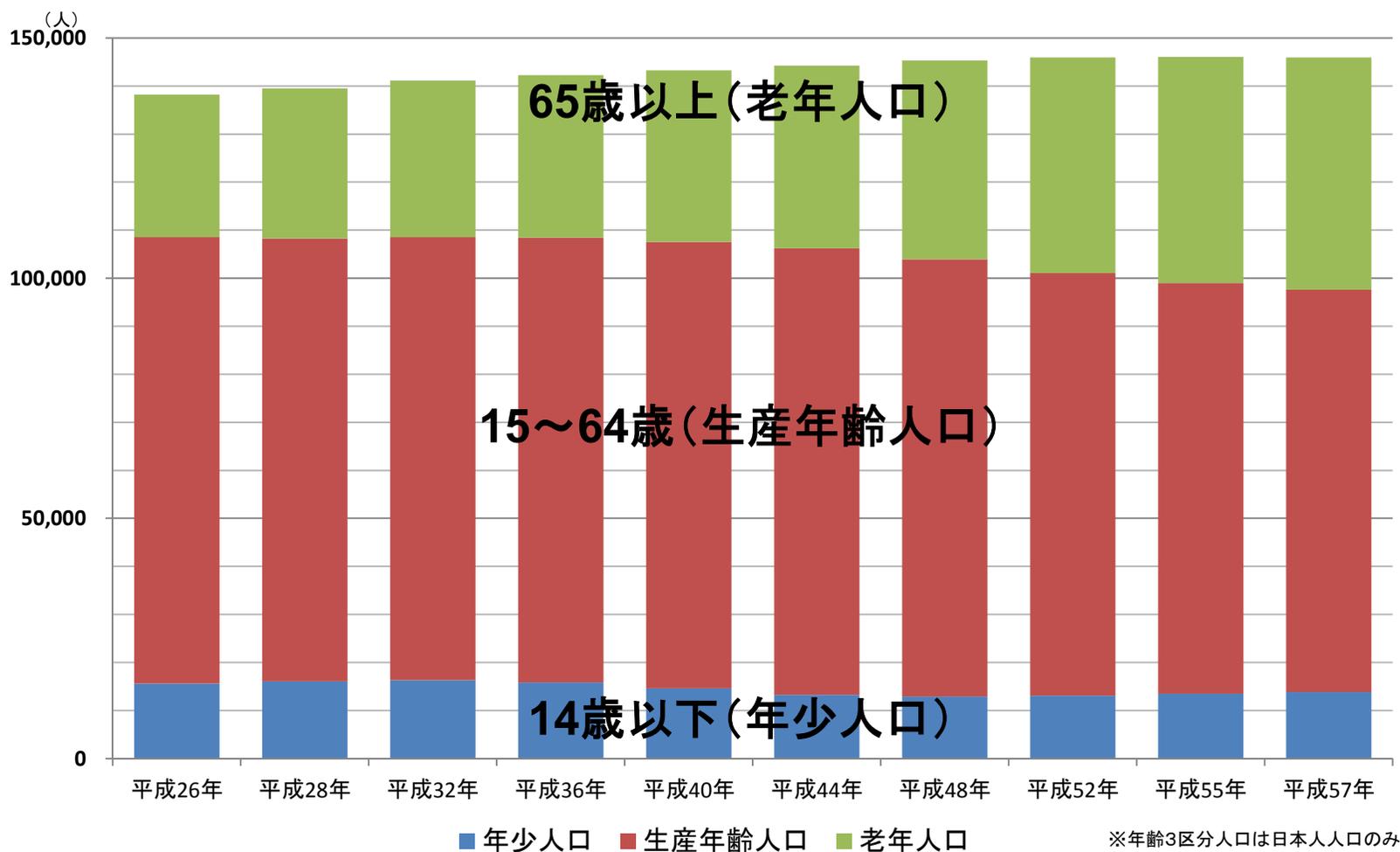
①-1.まちづくりにおける課題

- 歳入減少、少子・高齢化の背景のもと、H39年頃から公共施設の更新が集中、今後30年間で370億円の財源不足が予測される
- 公共施設は総面積約30.8万m²であり、築後30以上が60%超



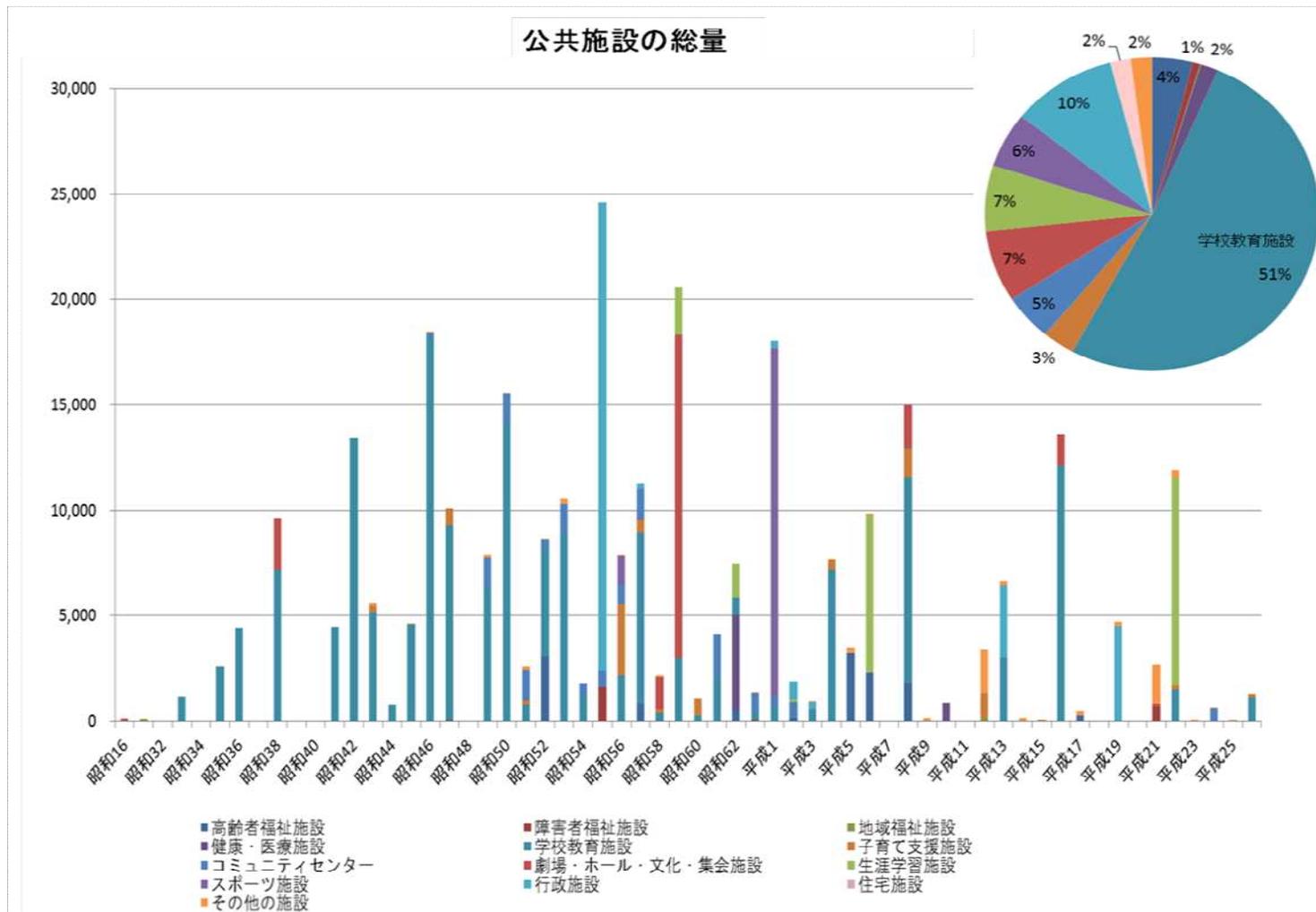
①-1.まちづくりにおける課題

■武蔵野市の将来人口（総人口と3区分人口）



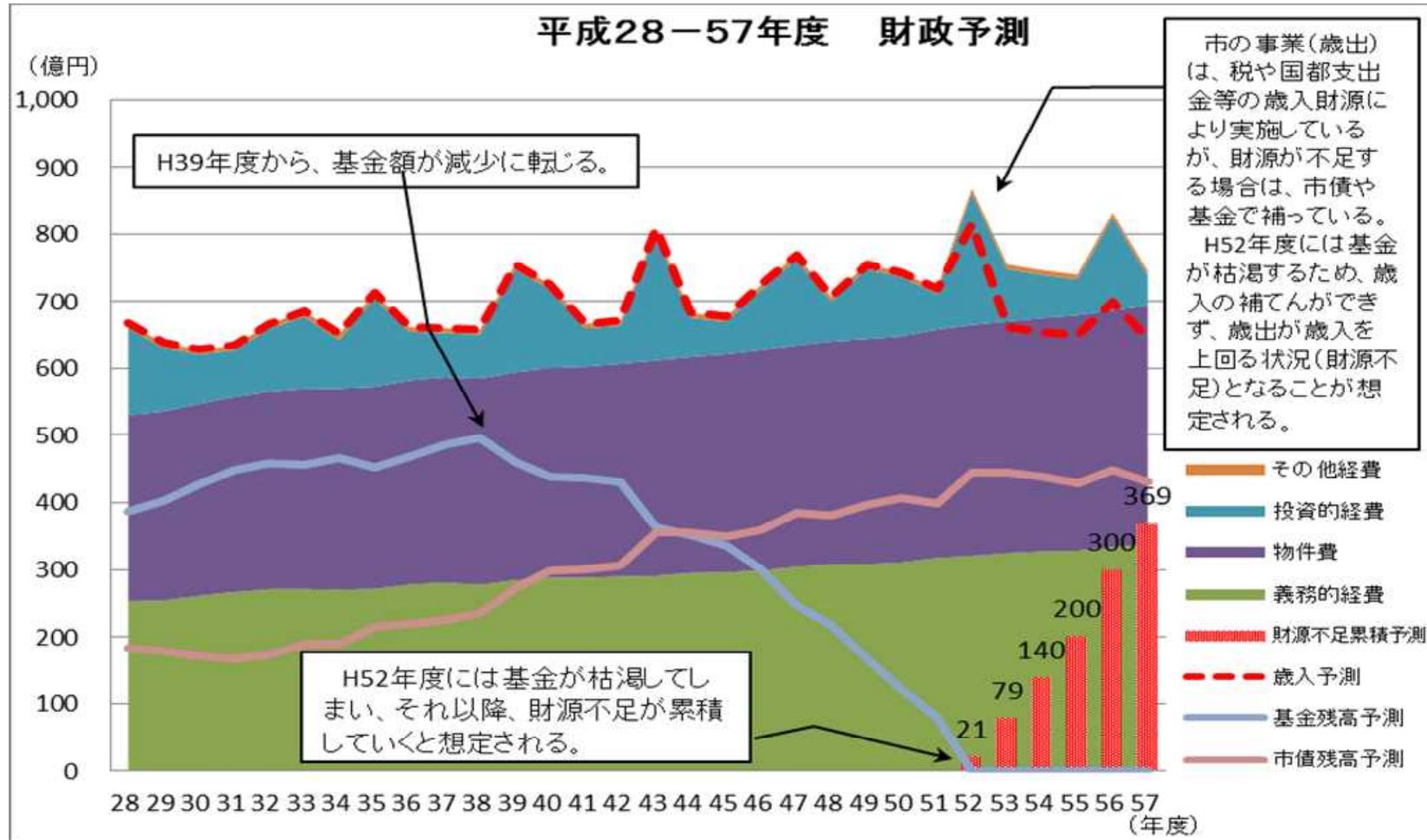
①-1.まちづくりにおける課題

■公共施設の総量



①-1.まちづくりにおける課題

■財政シミュレーション（平成28～57年度）



①-1.まちづくりにおける課題

■これまでの取り組み

年 月	これまでの取り組み
平成23年9月	「公共施設白書」を策定・公表
平成24年6月	公共施設再配置等検討委員会設置
平成25年3月	「公共施設再編に関する基本的な考え方」を策定・公表
平成25年6月	公共施設再編に関する市民アンケート実施
平成25年7月	公共施設再編シンポジウム開催
平成26年4月	総務省から公共施設等総合管理計画策定要請
平成26年7月	公共施設等総合管理計画策定本部設置
平成28年2月	公共施設等総合管理計画案公表、パブリックコメント・説明会実施



①-1.まちづくりにおける課題

■ 公共施設等総合管理計画（案）～H28.2公表

□ 基本方針

- 三層構造に基づく効率的
 - 効果的な施設配置
- 既存施設の長寿命化
- 既存施設の有効活用と総量縮減
- 100年利用できる新たな施設建設
- 行政と民間等の役割分担の整理とPPPの活用
- 駅周辺の面的整備
- 未・低利用地の利活用及び整理
- 受益者負担の適正化
- 将来を見据えた整備水準の選択
- 持続可能な管理水準



①-2.現在取組んでいる又は今後検討する官民連携事業

■新武蔵野クリーンセンター（仮称）整備運営事業（建設中）

⇒DBO方式

■武蔵境駅北口市有地有効活用（事業者募集中）

⇒定期借地権方式。民間による建設・運営、市政センター賃借、駅前のにぎわい創出



①-2.現在取組んでいる又は今後検討する官民連携事業

■新武蔵野クリーンセンター（仮称）整備運営事業

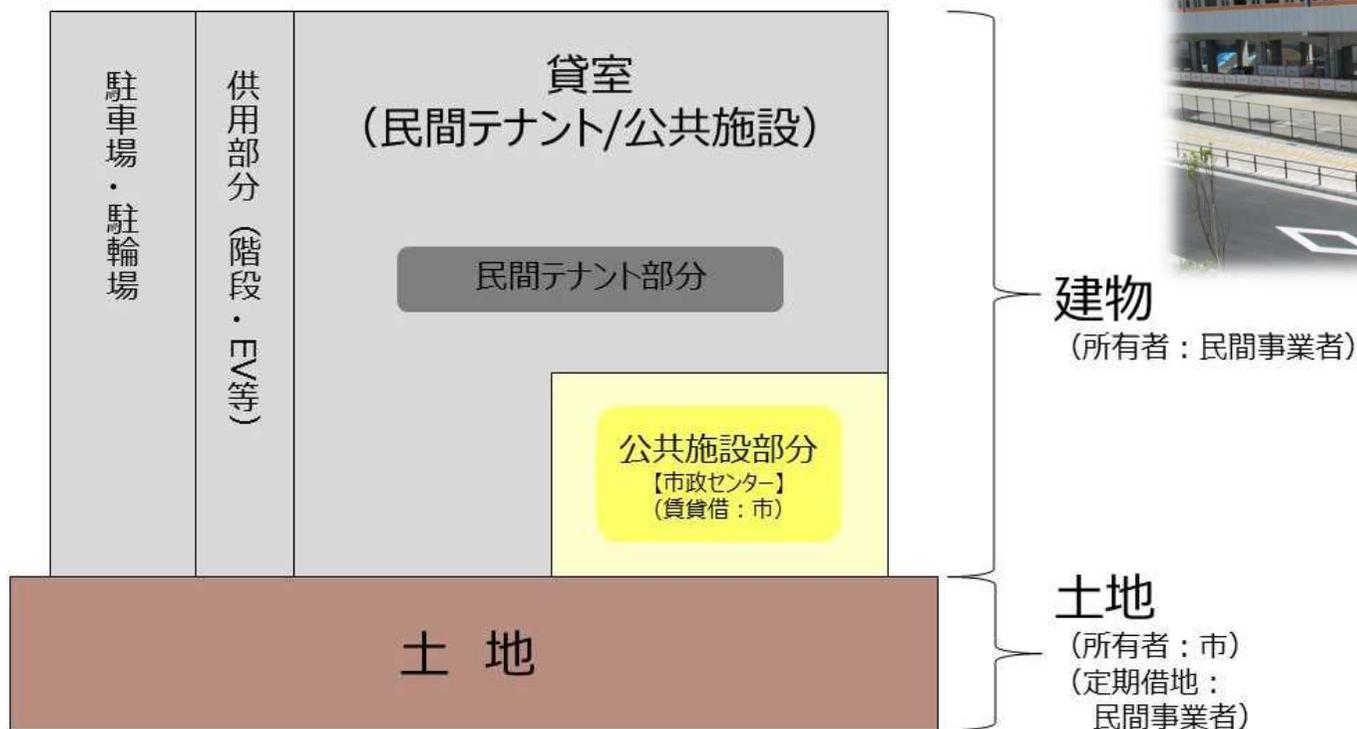
- ・市の中心部に位置する清掃工場の建替え事業
- ・事業方式：DBO方式（設計＋建設＋運営20年間）
- ・建設期間：平成25年7月～平成31年6月（平成29年4月工場棟稼働開始）
- ・市民、有識者、市で構成する協議会等の検討を踏まえ要求水準書作成
- ・地域の景観と調和する建築デザイン、自立・分散型エネルギー供給システム



①-2. 現在取組んでいる又は今後検討する官民連携事業

■ 武蔵境駅北口市有地有効活用事業

○ 事業スキームイメージ



②-1. 官民連携を進めるにあたっての課題

■ 行政・議会・市民・事業者の意識改革

■ 地方自治体における公民連携に関するノウハウを持った職員の育成



②-2. アドバイス・要望

- 「優先的検討規程策定」や「プラットフォーム形成」への支援



その他-1.官民連携に取り組む目的

- より質の高い公共サービスの提供
- これに必要な施設整備等を効率的・効果的に整備
- 持続可能な行政運営



その他－2.官民連携に期待する効果

- 市民に対するサービス向上
- 行政におけるコスト削減
- 事業者におけるビジネスチャンスの拡大



その他-2.官民連携に期待する効果

